

パゾリーニ

ようこそ、はじめの

体験へ



生誕100年
21作品が揃った
アジア初の大特集はじまる



パゾリーニってだれ?

ピエル・パオロ・パゾリーニ (1922年3月5日-1975年11月2日)

今も古びることのない強靱な知性と視点で社会と向き合い続けた、イタリアの最も偉大な映画作家の一人。ローニャで貴族階級の軍人の父と農村出身の学校教師の母のもとに生まれ幼少期からその詩才が話題に。ファシストとナチス・ドイツによる暴力に満ちた第二次世界大戦時代、レジスタンス活動に入った弟を同じパルチザンに殺された体験が、生涯作品に色濃く投影されたといわれる。49年母とローマへ移住。詩や小説の評価が高まるなか、生活の安定のために映画脚本に参加。『河の女』『カビリアの夜』『狂った夜』などで注目を集める。61年スラムでの体験に基づくオリジナル企画『アッカトーネ』で映画監督としてデビューしてからは、既存の体制から自由な映画世界や、宗教や政治への痛烈な批判などで、センセーショナルな話題を呼ぶ。75年11月2日ローマ郊外オステリアで惨殺体で発見された。

どこで観れる?

国立映画アーカイブ 9/11日~22日

(東京都中央区京橋3-7-6)

「第44回ぴあフィルムフェスティバル2022」にてチケットぴあによる前売りチケットのみ(上映15分前まで販売)。必ず紙のチケットを発券のうえご来場ください。会場での当日券販売はございません。チケットぴあPコード:552-370 ※上映開始後の入場は出来ません。



ユーロスペース 10/22土~11/3日祝

(東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F)

ユーロスペースでのチケット販売のみ。上映の3日前からの販売となります。詳しくは、劇場公式サイトをご確認ください。



京都文化博物館 11/19土~26日

(京都府京都市中京区東片町623-1)

「第44回ぴあフィルムフェスティバル2022 in 京都」にてチケットぴあによる前売りチケットのみ(10月22日発売)。必ず紙のチケットを発券のうえご来場ください。会場での当日券販売はございません。



「はじめてのパゾリーニ」を語る。

深田晃司監督&PIFF入選2監督による、「わたしたちのパゾリーニ体験」を公開中!



東京
京橋・国立映画アーカイブ(月曜休館)
9/11日~22日

渋谷・ユーロスペース
10/22土~11/3日祝

京都
三条高倉・京都文化博物館(月曜休館)
11/19土~26日



共催:イタリア文化会館

パピエールパオロ

アッカトーネ

35mm上映

Accattone
1961年/イタリア/白黒/117分



ヒモを生業とする青年が純真な少女と恋に落ち、生き方を変えようとするが…、戦後の復興を謳われながら尚、過酷なスラムの暮らしを描き、衝撃と論争を巻き起こしたデビュー作。詩才が炸裂する傑作となった。アッカトーネは伊語で「乞食」。

▶国立映画アーカイブ…9月11日(日)14:45～
▶ユーロスペース…10月26日(水)13:00～
▶京都文化博物館…11月26日(金)14:30～

奇跡の丘

35mm上映

Il Vangelo secondo Matteo
1964年/イタリア/白黒/137分



マタイ伝を忠実に映画化。「無神論者でありながら神の子の物語を描く」という矛盾の中から、この映画のスタイルが必然的に生まれた」と自身が語る革命的イエス伝。多数の賞を獲得し一躍名声が高まる。この作品でニネット・ダヴォリと出会う。

▶ユーロスペース…10月22日(土)13:00～、
10月26日(水)15:30～
▶京都文化博物館…11月23日(水・祝)11:00～

テオレマ

4K スキャン版 (ザジフィルムズ提供)

Teorema
1968年/イタリア/カラー/98分



イギリスからテレンス・スタンプを迎え、謎の青年との関係によりそれまでの暮らしを揺さぶられるミラノのブルジョワ一家を描く。小説と映画脚本が同時進行で進んだという深い宗教的寓話。ラウラ・パッチェリがヴェネチア映画祭で最優秀女優賞を受賞。

▶ユーロスペース…10月24日(月)13:00～、
10月27日(木)13:00～、10月31日(月)15:30～、
11月2日(水)15:30～

© 1985 - Mondo TV S.p.A.

カンタベリー物語

35mm上映

I racconti di Canterbury
1972年/イタリア/カラー/111分



隔年「生の三部作」第2弾。14世紀イギリス詩作の父、ジェフリー・チョーサーの「カンタベリー物語」を長期イギリスロケで実現した、カンタベリーを目指す巡礼者たちの艶笑体験談オムニバス。1972年ベルリン映画祭金熊賞受賞。

▶国立映画アーカイブ…9月22日(木)12:00～
▶ユーロスペース…11月1日(火)15:30～
▶京都文化博物館…11月19日(土)18:00～

マンマ・ローマ

35mm上映

Mamma Roma
1962年/イタリア/白黒/106分



ストリートの人を好んで使うパゾリーニが、本作には国民的女優アンナ・マニャーニを招き、美しく成長した息子を貧しさから抜け出させようと奮闘する元娼婦のマンマ・ローマを強烈に演じさせる。実話からヒントを得たという息子の運命がかなしい。

▶国立映画アーカイブ…9月20日(火)11:15～
▶ユーロスペース…10月23日(日)13:00～
▶京都文化博物館…11月24日(木)15:30～

大きな鳥と小さな鳥

35mm上映

Uccellacci e uccellini
1966年/イタリア/白黒/86分



放浪する無知な親子(父を喜劇王トト、息子をニネット・ダヴォリ)に言葉話す不思議なカラスが同行する。やがて知的なカラスにうんざりした親子は…。「生と死」の問題を寓話的な物語形式で描きパゾリーニの転換点となった貴重作。

▶国立映画アーカイブ…9月20日(火)16:00～
▶ユーロスペース…10月30日(日)13:00～
▶京都文化博物館…11月22日(火)13:00～

愛と怒り

オムニバス 日本初上映

Amore e rabbia
1969年/イタリア、フランス/カラー/102分



ゴダール、ベルトルッチなど5監督が参加。パゾリーニの「造花の情景」の舞台はローマ。大きな造花を持って街を軽やかに歩く青年の屈託のない表情と、戦争、爆撃、虐殺、チェ・ゲバラの最期などの記録映像が、対照的に重なりあう。

▶国立映画アーカイブ…9月16日(金)15:30～
▶ユーロスペース…10月29日(土)13:00～

※現存する素材が限られているため、上映の画質状態がかなり悪い素材の作品もありますことをご了解の上で、チケットをお買い求めください。

アラビアンナイト

35mm上映

Il fiore delle mille e una notte
1974年/イタリア/カラー/131分



「生の三部作」第3弾。「千夜一夜物語」をベースとしたカップルの時空を超える愛の物語。舞台とした北イエメン・シバームの旧城壁都市とエンニオ・モリコーネの音楽が夢の世界を紡ぐ。1974年カンヌ映画祭審査員特別賞受賞。

▶国立映画アーカイブ…9月22日(木)15:00～
▶ユーロスペース…11月3日(木・祝)13:00～
▶京都文化博物館…11月20日(日)14:15～

ロゴバグ

オムニバス 35mm上映

Ro.Go.Pa.G.
1963年/イタリア、フランス/白黒/122分



「冷戦時代の世界の終末の始まり」をテーマにロッセリーニ、ゴダール、パゾリーニ、グレゴレッティが参加。パゾリーニの「リコッタ」は、主演の映画監督役にオーソン・ウェルズを迎えるも「キリスト教を冒涜している」と物議をかもした。

▶国立映画アーカイブ…9月13日(火)15:30～
▶ユーロスペース…10月30日(日)15:30～
▶京都文化博物館…11月25日(金)12:00～

華やかな魔女たち

オムニバス

Le streghe
1967年/イタリア/カラー/107分



パゾリーニ(実験作「月から見た地球」)、ヴィスコンティ、ポロニーニ、フランコ・ロッシ、デ・シカらのイタリアを代表する5監督と、クリント・イーストウッド、アニー・ジラルドなど国際的なキャストが参加。シルヴァーナ・マンガノが各話の魔女が登場。

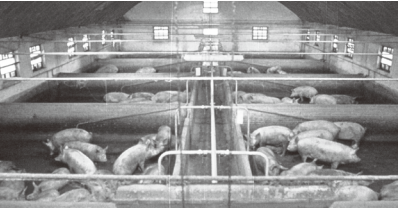
▶国立映画アーカイブ…9月14日(水)15:30～
▶ユーロスペース…10月25日(火)15:30～

The Witches © 1968 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved.

豚小屋

35mm上映

Porcile
1969年/イタリア/カラー/99分



中世の戦闘でのカニバリズムと現代ブルジョワ社会の獣畜、2つを交互に進行させる挑発的で画期的な寓話。ピエール・クレマンティが反抗する者、ジャン・ピエール・レオが従順でもなく不服従でもない者として各話のキーパーソンとなる。

▶国立映画アーカイブ…9月18日(日)14:30～
▶ユーロスペース…10月25日(火)13:00～
▶京都文化博物館…11月22日(火)18:00～

ソドムの市

35mm上映

Salò o le 120 giornate di Sodoma
1975年/イタリア/カラー/118分



「スクリーンの上で壊えられるものの限界に到達したい」と願ったという遺作。時代と場所をナチ占領下北イタリアに置き、宗教、王権、行政、資本を代表する権力者たちの背徳的な行為を、人間の醜さの極限として描き切った超衝撃作。

▶国立映画アーカイブ…9月22日(木)18:30～
▶ユーロスペース…11月3日(木・祝)15:30～

愛の集会

35mm上映

Comizi d'amore
1964年/イタリア/白黒/93分



イタリア全土を移動しながら、子供から老人まで多彩な背景、年齢の人々にタープとされた性や恋愛について聞いていく画期的なシネマ・ヴェリテ。それを作家のモラヴィア、精神分析家ムザッティらと分析し「イタリア」を描こうという意欲作!

▶国立映画アーカイブ…9月20日(火)13:45～
▶ユーロスペース…10月23日(日)15:30～
▶京都文化博物館…11月24日(木)13:00～

アポロンの地獄

35mm上映

Edipo Re
1967年/イタリア/カラー/104分



ソフォクレスのギリシャ悲劇「オイディプス王」をもとに、強烈な母への愛情と父への憎悪＝エディプス・コンプレックスを描く自伝的作品。初カラー作品でもあり大女優シルヴァーナ・マンガノが輝く。自由に時代を超える美術や音楽も出色。

▶国立映画アーカイブ…9月21日(水)13:45～
▶ユーロスペース…10月22日(土)15:30～
▶京都文化博物館…11月22日(火)15:15～

王女メディア

(ザジフィルムズ提供)

Medea
1969年/イタリア＝フランス＝西ドイツ/カラー/111分



再びギリシャ悲劇を映画化。エウリピデスの過剰な愛の悲劇を世界のディーバ、マリヤ・カラスに「歌わず」演じさせ、舞台となるルコ・カッパドキアの岩窟群とともに高い肉体的性を持った世界を驚かせた。パゾリーニとカラスは、本作で深い信頼関係を結んだ。

▶ユーロスペース…10月24日(月)15:30～、
10月27日(木)15:30～、10月31日(月)13:00～、
11月2日(水)13:00～ MEDEA © 1969 SND (Group) MG. All Rights Reserved.

短編プログラム

3本立て上映 日本初上映

1965～1971年/トータル92分

「奇跡の丘」のためのパレスチナ訪問
Sopraluoghi in Palestina per il Vangelo secondo Matteo
1965年/イタリア/白黒/54分

「奇跡の丘」の撮影前に、実際イエスが訪れた土地、ガラリア、ナザレ、ヨルダン、ベツレヘム、シリア、ダマスカスなどを記録した映像。

インドに関する映画のための覚書
Appunti per un film sull'India
1968年/イタリア/白黒/25分

宮殿、庭園、工場、新聞社、僧院、読書市などを取材。第29回ヴェネチア映画祭ドキュメンタリー部門で上映。

サナアの壁
Le mura di Sana
1971年/イタリア、イエメン/カラー/13分

ユネスコへの街区保護請願のためのドキュメンタリー。「アラビアンナイト」イタリア国内初試写時に併映。



イタリア式奇想曲

オムニバス 日本初上映

Capriccio all'italiana
1968年/イタリア/カラー/81分



1970年代のイタリア社会について、6人の巨匠が辛辣なユーモアを交えて描いた6本の短編作品。パゾリーニは「雲って何?」を監督。喜劇王トトとニネット・ダヴォリが、操り人形に扮して、シェイクスピアの「オセロ」をミカミカルに演じる。

▶国立映画アーカイブ…9月15日(木)15:30～
▶ユーロスペース…10月29日(土)15:30～

※現存する素材が限られているため、上映の画質状態がかなり悪い素材の作品もありますことをご了解の上で、チケットをお買い求めください。

アフリカのオレステイアのための覚書

ドキュメンタリー 日本初上映

Appunti per un'Orestiade africana
1970年/イタリア/白黒/65分



ギリシャ悲劇の登場人物オレステスを現代アフリカに置く構想で、ウガンダ、タンザニアをモラヴィアと旅した記録。後年「ラスト・タンゴ・イン・パリ」で注目されたガトー・バルビエリの貴重なサックス演奏も記録されている。

▶国立映画アーカイブ…9月21日(水)16:15～
▶ユーロスペース…10月28日(金)15:30～

※現存する素材が限られているため、上映の画質状態がかなり悪い素材の作品もありますことをご了解の上で、チケットをお買い求めください。

© Cristina D'Osualdo. Tutti i diritti riservati.Pubblicato per gentile concessione della VIGGO Srl.